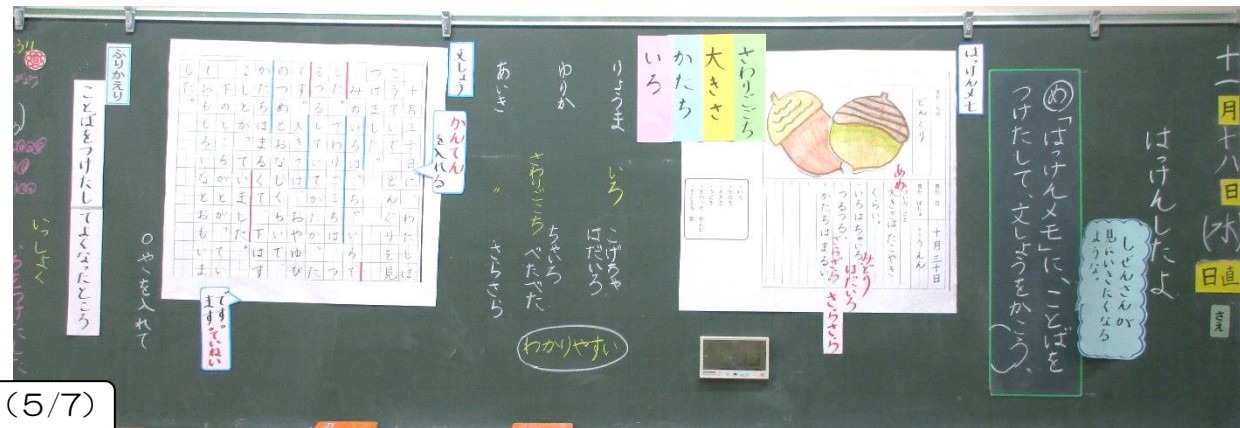


今回は、1年2組の授業と事後研の内容についてお知らせします。研究発表会での学習内容や手立てなどを取り入れながら、単元づくりを行っていました。また、これまで何度か交流学习をしている(次回の交流も控えている)友達に伝えるという身近な相手を設定することで、一生懸命書くことに向かっていた1年生です。

単元名 友だちに教えたい! 中村小学校のこれを見て~秋バージョン~ **全7時間**
教材名 「はっけんしたよ」 **公開授業: 1年2組 久松 教諭**
身に付けさせたい資質・能力: 様子を伝えるために必要な事柄を集めて文章に書く力



最終板書 (5/7)



ペアで伝え合っています



気付いたことを書いています。メモを見ながら、文に書いていきます

授業者よりリフレクション

目標達成に向けて

- 言葉を付け足すことに意識があったので、本時の明確なゴールを持てていなかった。
- 本時まで言葉にこだわるとはということか、子どもたちにしっかり落としあげればよかった。

本気になる課題

- 身近な相手を設定したのは良かったが、「これを伝えたい」という文章にはなっていないかった。

見方・考え方

- 実物を触り合ったり、話して伝え合ったりする活動の際、「これって何て言葉がいいかな?」「どうしてその言葉にしたの?」など、言葉に着目できるような対話にする必要があった。

事後研では、参観の視点(3点)に沿って協議を行いました。(抜粋)

1. 本時の目標は達成できたか。

- 観察したものの実物や写真が机の上であり、見たり触ったりしながら考えることができる。
- 前時で先生のモデルでメモから文章にする活動を行っていて、子どもたちは活動が分かっていた。
- ▼「つけ足す・くわしくする」よりも、大きさは~です。形は、~です。など、観察したものについて正しい言葉で表現することが重要ではないか。
- ▼語と語、文と文とのつながりを意識させ、段落など正しく書くことが不十分。

2. 児童が本気になる課題の工夫があったか。

- 交流している友達という身近な相手、次回の交流で実際に一緒に観察するという設定が良い。
- 相手から、絵と観察記録文が先に届いているというしかけをしている。

3. 「言葉による見方・考え方」を働かせるための手立てがあったか。

- メモには、順序を書いていて工夫が見られた⇒文章にする際、生かされていなかった。
- 集めた言葉を掲示するという手立てが良い⇒もっと活用させたい。
- ▼ペア対話でただ読んでいるだけになっていて、実物や写真を使っていない。どの部分なのか示しながら話したり、問い返したりさせたい。

助言者: 宗崎指導主事より(本単元・本時の学びのポイント)

① 単元の系統性を押さえる

今回は観察記録文を書く。1年生で付けたい力(ここまで書けるようにする・書く内容など)と2年生で付けるべき力の系統性を明確にし、確実に身に付けさせる。1年生:内容のまとまりを3段落構成で書く、メモから文章に(～は、…です。…でした。など)正しく書く。2年生:メモから文章化する際、知っているものに置き換える(～みたいなど)言葉も考えながら、語彙を拡充していく。

② 実物(写真)の効果的な活用

選んだ伝えたいものには、子どもそれぞれの思い(OOが好きだから、OOが気になるから)があるので、大切にしたい。ペアで、「メモを読むから分かるか聞いて。」⇒「分からないなあ。どれくらい?」⇒「手に乗るくらいかな。」など、触りたくなる(もっと観察したくなる)ようなしかけをしたい。準備物が良かったので、それを使って話したり触ったりしながら言葉を選ぶ姿までイメージしておきたい。実物が手元にあることで、一人一人が自分だけの言葉を選び、文章の中で使っていけるようになっていく。

※信頼し合う関係

子どもたちが先生の話や指示に素直に反応している。緊張感をもって一生懸命学習している子どもたちと、その頑張りを「すてき」と何度も評価していて、子どもたちと先生が確かな糸でつながっている。

「姿勢がすてき」「しっかり聞いている」子どもたちの良さをほめて、学びを持続させていた久松先生。前時の「どんぐり(先生のモデル)」のメモを文章に書いたとき、「固いことを入れたらいい。」と発言したり、本時でも「最初は一色しか書いてなかった。」と、比べて振り返ったりしている児童がいました。対象(観察したもの)をどんな言葉で表したらいいか、実物や写真を手がかりに子どもたちはもう一度考えていました。

事後研を受けて、「～は、…です。」と主述を正しい表現で書くこと、3つの構成で内容ごとに書くことを押さえて、子どもたちは文章を書き上げていきました。

そして、交流前に全員の文章(観察記録文)を届けて、読んでもらったそうです。確かな相手意識を持たせ、生活科とも関連させながら学習を進められるように計画されていた1年団の先生。ありがとうございました。



触り心地を確かめながら発見メモに書いている様子(前時)